

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	1495100081
法人名	社会福祉法人 馬島福祉会
事業所名	グループホーム 奏
訪問調査日	平成 21 年 10 月 6 日
評価確定日	平成 21 年 11 月 18 日
評価機関名	社会福祉法人 神奈川県社会福祉協議会

○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者（経営者と同義）を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年11月18日

【評価実施概要】

事業所番号	1495100081
法人名	社会福祉法人 馬島福祉会
事業所名	グループホーム 奏
所在地	神奈川県川崎市幸区小向仲野町1-24 (電話) 044-540-6507

評価機関名	社会福祉法人神奈川県社会福祉協議会		
所在地	神奈川県横浜市神奈川区沢渡4-2		
訪問調査日	平成21年10月6日	評価確定日	平成21年11月18日

【情報提供票より】(平成21年9月22日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 19 年 5 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	19 人	常勤 15 人 , 非常勤 4 人 , 常勤換算	14.7 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	4 階建ての	2 階 ~	3 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	70,000 円	その他の経費(月額)	25,000 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有 (350,000 円)	有りの場合 償却の有無	有	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,333 円			

(4) 利用者の概要(平成21年9月22日現在)

	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護1	5 名	要介護2	3 名		
要介護3	7 名	要介護4	1 名		
要介護5	2 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 84.1 歳	最低 65 歳	最高 95 歳		

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	佐々木内科クリニック、松村歯科医院
---------	-------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

- ◆開設時に全職員がかかわり理念を作成し、日常生活の中で理念を大切にしながら利用者とかかわり、サービスの提供を行っている。
- ◆利用者一人ひとりの生活歴や趣味等を把握し、生活の中でその人の役割を担ってもらい、その人らしい生活を送ってもらえるように支援をしている。
- ◆同一建物内に、小規模多機能型居宅介護とデイサービスを併設しており、行事や防災訓練等で連携を図っている。
- ◆職員に外部研修の情報提供をして積極的に参加できるようにし、資質の向上に努めている。

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の評価実施後、書類の整理を行い、業務日誌の書式を変えて現在使用している。家族と意見交換のための支援記録を新しく導入し、使用している。また、職員の勤務内容の見直しを行い、入浴や掃除の時間の変更を行った。
①	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価及び外部評価実施の意義と内容について、全体会議で職員に説明し、朝夕の申し送りでも周知し、理解を図っている。自己評価は、管理者・ユニットリーダー・ケアマネジャーが主となり作成した。今回の自己評価を通しての気づきから、さらに積極的に研修に取り組んでいくこととしている。
重点項目	② 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	初回は平成19年11月に開き、現時点で第9回を開催し、今後は2カ月ごとに開催する予定である。利用者家族・町内会会長・区担当課長・地域包括支援センター長・事業所職員(管理者ほか)で、今後は民生委員の参加を希望している。出席者より、地域行事への積極的な参加を勧められて地域の敬老会に参加したり、防災訓練実施には事前に地域住民に知らせてほしいとの意見を受けて、事前に連絡をするようにしている。また、介護教室開催の要望があり、今後取り組んでいく予定である。
重点項目	③ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	事業所内外の苦情受付窓口・担当者名を重要事項説明書に明記して契約時に説明し、玄関にも掲示している。月1回請求書の送付時に、お便りで日常生活の様子と個々の預かり金出納帳の報告をしている。またケガなど緊急の場合は電話で連絡をしている。家族から寄せられた相談や意見等は、申し送りノート等に記入し、職員間で共有し解決を図っている。また、運営推進会議での家族意見も採り入れている。
重点項目	④ 日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	「小向仲野町町内会新生会」に加入している。納涼盆踊り・祭礼・敬老会など、地域の行事に参加し、交流を図っている。また、小規模多機能型居宅介護と合同で、「お茶のみ会」を開催し、利用者たちが茶菓子を作り、地域の方々を招待して交流を図り、介護相談も受けている。また、ウクレレ演奏等のボランティアも受け入れている。

2. 評価結果(詳細)

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人理念である「地域福祉への貢献」に基づき、開設当初にグループホーム独自の理念を職員全員で作り上げている。		
	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は各ユニットの入口や職員控室に掲示するとともに、会議や申し送り時など機会あるごとに立ち返り、職員間で共有して、サービスを提供している。家庭の延長のように、その人にあった暮らしができるよう日々努めている。		
2. 地域との支えあい					
	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	「小向仲野町町内会新生会」に加入し、町内会行事の納涼盆踊りや祭礼などに利用者と一緒に参加している。また、玄関ロビーを開放して、小規模多機能型居宅介護と合同で「お茶のみ会」を開催し、利用者たちが茶菓子を作り、地域の方々を招待して交流を図ったり、介護相談を受けている。また、ウクレレ演奏等のボランティアも受け入れている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価実施の意義と内容について、全体会議で職員に説明し、朝夕の申し送りでも周知し、理解を図っている。自己評価は、管理者・ユニットリーダー・ケアマネジャーが主となり作成した。今回の自己評価を通して、研修に関する課題に気づき、さらに積極的に研修に取り組んでいくこととしている。		
	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	初回を平成19年11月に開き、現時点で第9回を開催し、今後は2カ月ごとに開催する予定である。利用者家族、町内会会長、区担当課長、地域包括支援センター長、事業所職員(管理者ほか)が出席し、現在は事業所の活動報告に対する評価・意見交換を主に行っているが、今後は地域との連携を積極的に図りたいと考え、民生委員の参加を希望している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	区担当者とはケアマネジャーが家族通信等を持参して情報交換を行い、市担当者には管理者が届出書などを提出の際に指導を受けている。また職員は市高齢者福祉総合センター主催の研修「高齢者の医学的理解」や「パーソンセンタードケア」等を受講しサービスの質の向上に取り組んでいる。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	月1回請求書の送付時に、お便りで日常生活の様子と個々の預り金出納帳の報告をしている。またケガなど緊急の場合は電話で連絡をしている。今年度からお便り以外に「陽だまり」を2カ月ごとに配布し、活動報告や行事案内、事業所の運営内容などを知らせている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	事業所内外の苦情受付窓口・担当者名を重要事項説明書に明記して契約時に説明し、玄関にも掲示している。家族が意見等を気軽に出来るよう、職員は家族とコミュニケーションをとることに努めている。家族から寄せられた意見等は記録し、職員間で対応を検討して解決を図っている。職員に名札を付けてほしいとの意見があり、つけるようにした。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動時には、説明や挨拶などによりかえって利用者に混乱を招くことがあるので、新メンバーは、利用者一人ひとりの状況等の申し送りを受けて、支援にあたっている。また、職員の定着を図るため、管理者は職員の気持ちを聴く機会を設けたり、研修受講を勧めて職員がやりがいを持てるように取り組んでいる。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	新任者には、オリエンテーション後にフロアリーダーによるOJTを1カ月ほど行っている。全体会議の後の時間を利用して内部研修を行っており、パート職員も参加している。新任、中堅別に職種にあわせた外部研修を勧め、受講している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	神奈川県認知症高齢者グループホーム協議会に加入し、合同研修会に参加している。平成21年10月開催の認知症介護実践研修に3名参加予定である。他の認知症高齢者グループホームとは研修会等で交流を持っており、今後も継続したいと考えている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	同一建物内1階の小規模多機能居宅介護からの移行者が多く、入居前に、おやつ時間等に加わってもらい場所や雰囲気等に慣れてもらうようにしている。また、利用者の入居日に、管理者の勤務、ユニットリーダーの夜勤勤務をあわせるなどして、少しずつ馴染めるよう配慮をしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	洗濯物たたみ、テーブル拭き、食器の後片付け、果物の皮むきなど、その人のできることにあわせて役割を担ってもらい、職員と一緒にいき、職員は利用者から常に感謝の言葉かけをしている。料理、昔の遊び、折り紙など、得意な人から職員は学びを得ている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人、家族から、本人の生活状況や意向を聴き、アセスメントシートに記録し把握している。また、利用者一人ひとりとの会話を大切にし、思いや意向を聴いている。意思疎通が困難な人には、表情や態度などの観察に努め、思いや意向を理解するようにしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日常の記録をもとに、フロア会議等で話し合い、暫定的に作成した介護計画をもとに、家族に面会時に説明をして、意見や希望を出してもらい完成させている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の見直しは、定期的に6か月ごとに行っている。また、状況の変化に応じてその都度見直し、新たな介護計画を作成をしている。見直しは、計画作成担当者が主に行い、フロア会議で支援状況を検討している。家族からの要望により見直しを行った介護計画が作成されている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	協力医療機関の内科医による月2回の往診を受けている。理・美容の利用支援、各書類の申請代行などのサービスを行っている。訪問調査日に、理・美容サービスが行われていた。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時のアセスメントで、これまでのかかりつけ医を確認し、希望するかかりつけ医での受診ができる。これまでのかかりつけ医に通院する場合には、家族が付き添うことになるが、そのかかりつけ医とは電話で情報交換を行っている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	医療行為が必要となった場合は、グループホームでのサービス提供はできないことを契約時に説明し、同意を得ている。終末期ケアは行っていないが、重度化した利用者については、家族と今後想定されることなどを話し合ったうえで、緊急時対応を取り決めている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報保護方針を玄関に掲示するとともに、守秘義務に関して重要事項説明書に明記している。個人の記録等はスタッフルームの鍵のかかるキャビネットに管理している。利用者の居室に入る時は、必ず声をかけてから入室するなどしており、利用者訪問調査時、職員の利用者に対する言葉遣いは丁寧であった。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日のスケジュールは特に決めておらず、入居前から通っている「絵手紙教室」に家族が付き添い毎月参加したり、お参りに家族と出かけたりと、その人の希望にあわせて日々を過ごせるように支援している。また、起床時間が早い人にお茶を出したり、入浴を一番に希望する人には一番の入浴を提供するなど、一人ひとりの生活のペースにあわせた支援を行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理については業者に委託しているが、食事の後片付け・食器拭き・お盆洗いなどを、利用者と職員が行っている。誕生日や敬老の日などの行事の時は、特別メニューとして献立を利用者と職員と一緒に作り、楽しんでいる。訪問調査日の昼食では、職員は利用者と一緒に食事をしながら、声かけをしたり介助をしていた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	檜の浴槽を設置している。入浴日を決めているが、利用者の希望に応じて対応している。同性介護を希望の人には同性介護をしている。入浴を好まない人には、対応する職員を替えたり、時間を替えて勧めるなどの工夫をしている。季節により柚子湯や菖蒲湯などを楽しんでもらうなどの工夫もしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	その人の生活歴や趣味等の情報をもとに、役割を考え、それを介護計画に盛り込み、日々、利用者喜んでもらうことを考えながら支援をしている。利用者と一緒に屋上のプランターで野菜や花を育てたり、季節の行事や誕生日会などを楽しんでいる。訪問調査日には、食後にカルタ取りやちぎり絵などを行っていた。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は散歩に出かけているが、大回りコースとショートコースがあり、体調や状況に合わせてコースを変えるなどしている。また、気分転換を図るために、個人でのドライブや、みんなで川崎大師や池上本門寺などにドライブでの外出をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	建物の出入口は施錠をしていないが、建物は交通量の多い道路に面しているため、家族の了解を得て、事業所に行くエレベーターや階段の出入口は電子キーを使用している。居室は施錠せず、居室と共用空間の移動は自由である。訪問調査日に、出かけようとエレベーターを開けようとしている利用者があり、職員は見守りにより対応していた。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防計画を作成して消防署に提出し、それに基づき、利用者と職員が参加して年2回防災訓練を実施している。防災訓練の実施前には、防災研修を行っている。地域との協力体制について、現在町内会と話し合いをしている。また、スプリンクラー、誘導灯、火災報知機、消火器を設置している。水・食料の備蓄をしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事や水分の摂取量のチェックを全員に行い、摂取量が少ない人には配慮し対応している。2カ月ごとに、委託業者・3事業所代表・法人の管理栄養士による食事会議を行い、献立等について検討している。利用者の状況に合わせて、とろみ食、極刻み食、粥食などの形態で提供している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭的な環境作りに工夫している。居間の壁に、月とウサギの張り絵や枯れススキを飾って季節感を取り入れたり、塗り絵、習字や絵手紙などの利用者の作品と手作りカレンダーも飾られている。24時間環境システムで湿度調整、空気清浄を行っている。居間や脱衣室はバリアフリーであり、床暖房になっている。浴槽は、檜風呂である。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族と協力し、本人の馴染みの家具や寝具を持参してもらっている。居室には、馴染みのベッド、タンス、仏壇、テレビなどが置かれ、写真なども飾られ、それぞれ居心地の良い居室になっている。		

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム 奏
(ユニット名)	ユニット 1【2階】
所在地 (県・市町村名)	川崎市幸区小向仲野町1番地24
記入者名 (管理者)	伊藤 陽子
記入日	平成 21 年 9 月 20 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人理念に基づき、事業所でも理念および運営方針を定めています。	○ 理念、運営方針は事業所内の分かりやすい場所に掲示しています。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念、運営方針を事業所内に掲示し、職員間で共有できるように努めています。	○ 今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入居相談を受ける際に事業所の理念や運営方針を説明したり、運営推進会議で説明し、理解していただけるように努めております。	○ 今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩の際や近隣の店舗の方からは、利用者や職員にも気軽に声をかけていただいております。	○ 今後も、より一層おつきあいしていただけるように色々な取り組みを検討したいと考えております。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に奏として加入しており、町内会行事・敬老会等への参加・交流をしています。	○ 今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議において、議題等として取り上げています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の評価実施を受け、改めて前回の評価結果を見直す機会を作ることが出来ました。	○	今後も、評価を活かし、より良い運営ができるように改善に取り組んでいきたいと思います。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議において提示し、意見を参考に運営しています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	各種届出時を利用し、質疑応答をしたり、パンフレットや家族通信を届けたりしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	市が発行しているパンフレットなどを読み、知識を得ていますが、まだまだ不十分だと思っています。入居において契約・問い合わせの方には必要に応じて、情報を提示し説明しています。	○	今後は外部研修などに参加し深い知識を得るようにしたいと思っています。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	県で発行されたマニュアル等を全職員で回覧し、各自で学ぶ機会としましたが、まだまだ不十分だと考えています。	○	今後は外部研修や施設内研修で学ぶ機会をつくり、虐待防止の徹底ができるようにしたいと思っています。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約を結ぶ際には、重要事項説明書と契約書をもとに、十分に説明し、ご納得いただいてから署名・捺印をしていただようにしています。	○ 今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	現場にて、利用者から不満や苦情が出た際は、きちんと利用者の話しをじっくり聴くようにし、現場で対応できるものはすぐに反映させるようにしています。また、今年度から介護相談員の受け入れをすることとしています。(今年度の来訪はまだ受けていません。)	○ 今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月ご家族にはお手紙を郵送し、日々の生活・金銭面等報告しております。	○ 今年度より家族通信「陽だまり」を二ヶ月に1度程、作成・配布を始めました。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	電話連絡時や面会時を活用し、ご家族からの率直な意見や不満・苦情などを伺えるようにしています。また、契約時に、苦情申し立てができる外部機関について説明しています。	○ 今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会議やフロア一会議や毎日の申し送り時等で率直な意見を出してもらうようにしています。また、個別に職員一人一人の思いを聞く機会も随時設けています。	○ 今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
17	○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	そのときの状況に合わせて、その場にいる職員間で話し合い、柔軟な対応ができるようにしています。	○ 今後は、必要な時間に適正に職員が確保できているか見なおし、勤務時間の検討などもしていきたいと思います。
18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	離職や異動の際には、必要最低限となるように検討し実施しました。利用者には該当する職員からお別れの挨拶などをしてもらいました。また、その際には利用者の精神的なダメージにも配慮し、不安感を静めていただくような声かけをしました。(「他の職員や新しい職員できちんと見させていただきます」等と話させていただきました。)	○ 離職者が出ないように努力をするとともに、今後も職員異動などの時は精一杯の配慮をしていきたいと考えています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職能に合わせた外部研修への参加をすすめたり、事業所内研修の機会を作り、一人一人のケアの質の向上に努めています。</p>	<p>○</p> <p>今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>神奈川県認知症高齢者グループホーム協議会に加入し、合同研修会などに可能な範囲で参加しています。近隣の同業者との交流の場は現在は途絶えてしまいました。</p>	<p>○</p> <p>今後は市および区内の同業者との交流の機会を持つべく、積極的に当事業所からアプローチなどしていきたいと考えています。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>まめに声かけし、日ごろからコミュニケーションを取るよう努めています。そして、必要や要請に応じて話し合いの場を持ち、職員一人一人の気持ちや思いを受け止めるようにしています。</p>	<p>○</p> <p>今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>運営者は、全職員の日ごろの努力や実績、勤務状況を把握し、各職員の努力を評価しようとしています。</p>	<p>○</p> <p>今後も、全職員が向上心を持って働くことが出来る環境整備に努めていきます。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>面接時には、本人からも意向を聴く機会を作り、不安がないように配慮しています。</p>	<p>○</p> <p>今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居前に何度か面談の機会を持ち、ご家族の思いをじっくりと伺い、信頼関係を作るようにしています。</p>	<p>○</p> <p>今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に、本人や家族のニーズを的確に掴むようにじっくりと話しを聞き、入居を急がなくても良いケースと思われるときには、併設事業所(小規模多機能、デイサービス)等の説明や紹介をする機会もありました。	○	今後も、引き続き同じような対応をしていきたいと思ます。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居においては即入居の体制をとらず、本人の見学やおやつ時にお茶を飲みに来ていただく等の機会を積極的に促していき、入居前に少しずつホームの雰囲気になじめるようにしています。	○	今後も、引き続き同じような対応をしていきたいと思ます。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事を一緒にしたり、洗濯干し・たたみ、食事盛り付け・片付け、掃除などの日常生活の仕事を一緒に取り組みながら、共通の話題づくりや共同生活者としての立場が実感できるようしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思ます。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入居となっても、家族と職員が協力しあってご本人を支えていくことの重要性をご家族に充分お話しし、ご理解いただいています。	○	家族の思いを受け止めながら、本人をどのように支援していくかを、今後もそのつど話し合っていきたいと思ます。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居前の家族関係や、現状での本人・家族それぞれの思いを聞き、お互いの関係性を理解し、適切な支援をしようとしています。	○	今後も、引き続き同じような対応をしていきたいと思ます。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームに気軽に面会していただけるように、ご家族に声かけを行っています。友人・知人の方々へも来て頂ける様に、ご家族を通じて声を掛けていただくようお願いをしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思ます。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	満床になったことで、利用者同士の関係性も出来、食事の席の配置には配慮しています。また、フロアでのレク活動や余暇時間を通して、親睦が深まるように援助しています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思ます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	何らかの形で契約が終了しても、いつでもまた相談等支援・協力を惜しまないと利用者・家族にお話しています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個々の生活、ADLに合わせて個別に把握し、一人ひとりの思いや意向を聴く時間を持つようにしています。自身で訴えられない利用者へは本人の思いを推測し、理解するように努めています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	インテークから、これまでの暮らし方を把握するように本人・家族に尋ねるようにしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の生活記録や申し送り時に職員間で情報共有し、現状把握するように努めています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日常の記録、フロア会議での検討事項等をもとに暫定的なケアプラン作成しています。ご家族へは面会時等に説明を行い、意見や希望を出していただき、最終版としています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じ、計画作成担当者がまずは見直しを行い、上記のように進めていくようにしています。それと共に利用者の状態の変化があったときも、同様な手順を踏み、ケアプラン作成をしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者ごとに生活記録を細かく記入することにより、職員間で共有できるようにしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	インテーク時に、施設内の他事業所のサービスの案内をし(小規模・デイ)本人や家族の状況に合わせてサービスを受けていただければというように支援をしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	今のところ、あまり連携はとれていませんが、音楽を演奏してくれるボランティア団体とコンタクトをとり、演奏にきてもらいました。	○	今後、音楽演奏や演芸をしてくれるボランティア団体と定期的に交流を持っていきたいと思っています。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問マッサージを受けている利用者が数名おり、そのつど本人の体調や様子などの情報提供を行っています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議の参加メンバーに所長が入っているため、二が月に一回は事業報告を行い、助言等をいただいています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個々の利用者の在宅生活時のかかりつけ医については、入居時のアセスメントで把握するようにしています。入居後も必要に応じて、受診していただく場合もあります。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	○	<p>今後は、認知症の専門医と連携をとる方法を模索していきたいと思っています。</p>
45	<p>○看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	○	<p>今後も、引き続き取り組んでいきたいと思っています。</p>
46	<p>○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	○	<p>今後、入院されるケースがあったら、同様に対応していきたいと思っています。</p>
47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	○	<p>契約時に、本人・家族の意向を伺い、変化があったときには再度検討する旨を説明し、同意をいただくようにしていきたいと思っています。</p>
48	<p>○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	○	<p>今後、終末期のあり方については、家族懇談会などを行い意見をいただく機会をつくろうとしています。また、職員間でも話し合う機会をつくり、マニュアルの整備に取り組みたいです。</p>
49	<p>○住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	○	<p>今後も、引き続き取り組んでいきたいと思っています。</p>

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の居室へ入る時は必ず声をかけて入室する等の配慮はしています。記録物についてはカギのかかる収納棚に入れて保管しています。	○ 今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	個々の利用者に合わせた声かけの仕方での説明を行い、出来るだけ自分で決めていただくように促しています。	○ 今後も、引き続き同様の対応をしていきたいと思います。その際は、こちらの意見を押し付けないようにしていきたいと思います。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事にかかる時間・入浴にかかる時間等、個々の利用者のペースに合わせて、ゆっくり過ごしていただくようにしています。	○ 今後も、本人の体調に合わせて対応していきたいと思います。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	訪問理容の利用時はご本人の希望に応じ対応し、希望でパーマ・顔そり・毛染めも可能なようにしています。	○ 今後は、家族に協力をいただき、本人の望むお店にいけるように支援していきたいと思います。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	調理については、業者に委託していますが、片付け・食器洗い・拭き等を可能な範囲で職員と利用者がともに行えるようにしています。盛り付けは、いろいろな食形態に合わせて行う必要性から、現在は手伝ってもらっていません。	○ 今後は、盛り付けも行ってもらえるように工夫したいと思っています。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	嗜好品(コーヒーなど)に関しては何種類か選べるように対応しています。アルコール等は個々の現在の疾病によりドクターストップがない限りは出来る限り希望を叶えていくこととしていますが、現在は希望者がいないため対応していません。	○ 今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	各自の排泄パターンを把握するために排泄チェック表を記入し、適時の対応しています。	○	今後も、継続していき、自ら訴えられない利用者には、職員からの声かけや誘導を行い、清潔を保っていただけるように支援していきたいと思います。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は設けていますが、本人希望により変更できるように対応しています。	○	今後も、本人の体調に合わせて対応していきたいと思います。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々の睡眠や生活習慣を日々の記録により把握し、日常生活リズム作りを行い、安心して眠っていただけるように支援しています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常生活部分を利用者に、担っていただき、個々の役割意識をもってもらうように支援しています。また、楽しみの部分としては、一人ひとりの生活歴から好きなことを引き出し行っているようにしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人では管理が難しい方が多い為、ご家族了解のもとに職員が管理し、外出時に買い物等の機会をもうけ支援を行っています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は、希望する利用者と散歩などに出かけたりしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	行事等でドライブなど外出等の支援を行っています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があれば支援しています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会に関しては自由に来訪が出来、自室やフロアで過ごせるよう対応しています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については、職員全員が禁止事項であることを周知対応しています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。また、施設内研修の機会を作り、一層の理解を深めていきたいと思ひます。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	2・3階部分が施設になっていて施設前が交通量の多い道路であるため、ご家族了解のもとエレベーターや階段出入口に電子キーを使用しています。	○	今後も、継続します。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の見える範囲に職員がいるようにしています。	○	今後も、継続します。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意が必要とされる物品に関しては、鍵がかかるところに保管しています。	○	今後も、継続します。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットへの意識づけを職員間で行い、小さなリスクにも注意を払うようにしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。また、施設内研修の機会を作り、一層の理解を深めていきたいと思ひます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	以前には、看護師による伝達研修(施設内)実施したこともありますが、今年度から、職員全員が順番に消防署主催の救命講習会へ参加するようにしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。また、看護師による施設内研修の機会を作り、一層の理解を深めていきたいと思います。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災計画にのっとり、定期的に防災訓練を行っています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	個々の利用者によって、ご家族にその都度説明対応しています。	○	今後も、継続していきたいと思います。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	早期に医療機関に連絡するとともに、ご家族にも連絡しています。	○	今後も、継続し対応していきます。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々のファイルに服薬している薬の説明があり、把握できるようになっています。	○	誤薬、飲み忘れがないように、複数の職員がチェックし、服薬確認を行っていきます。また、服薬に変更があった場合の情報共有に努めたいと思います。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	なるべく自然排便を促し、嗜好・食物・個別乳製品購入にて対応しています。	○	今後も、継続し対応していきたいと思います。必要に応じてかかりつけ医への受診もすすめていきたいと思います。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを行っています。夜間入れ歯に関しては洗浄剤にて清潔の保持と管理をしています。	○	今後も、継続し対応していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の摂取表をもうけ記入し、一人ひとりの状態を把握し、摂取量が少ない利用者へは合間をみて声かけを行ったり、食事介助をしています。	○	今後も、継続し対応していきます。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを作成し、職員に周知しています。	○	今後も、継続し対応していきます。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具についてはフロー内で調理する機会は少ないのですが、使用した際は消毒を行っています。	○	今後も、継続し対応していきます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に椅子を用意しゆっくりくつろげる工夫しています。	○	今後も、継続します。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の飾り物やカレンダーなど、利用者と一緒に作品作りを行ったりし、環境作りを行っています。	○	今後も、継続します。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ベランダには椅子を置き、くつろげる空間を工夫しています。	○	今後も、継続します。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族と協力し、本人のなじみの家具や寝具を用意していただき、居心地のよい居室となるようにしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各居室に換気扇をもうけ、エアコン等も温度に配慮しながら、こまめに確認を行っています。	○	今後も、継続し対応していきます。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室に洗面所・トイレを完備し、本人の自立支援を行っています。	○	今後も、継続します。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々のペースに合わせて自立を目的として暮らせるように配慮しています。	○	今後も、継続し対応していきます。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	フロアーにベランダがあり、物干しやベンチがある為、洗濯物やお茶を飲んだりしています。屋上で植物を育てたり花火鑑賞を行ったりしています。	○	今後も、継続し対応していきます。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者一人一人が、その人らしい生活を出来る限り永く維持できるよう、奏で生活している中での日常の生活動作を中心に個々に役割をもつていただき、「楽しく」「笑顔で」「のびのびと」生活が送れるように、必要な支援をしていくように心がけています。

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム 奏
(ユニット名)	ユニット 2【3階】
所在地 (県・市町村名)	川崎市幸区小向仲野町1番地24
記入者名 (管理者)	伊藤 陽子
記入日	平成 21 年 9 月 20 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	法人理念に基づき、事業所でも理念および運営方針を定めています。	○ 理念、運営方針は事業所内の分かりやすい場所に掲示しています。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念、運営方針を事業所内に掲示し、職員間で共有できるように努めています。	○ 今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	入居相談を受ける際に事業所の理念や運営方針を説明したり、運営推進会議で説明し、理解していただけるように努めております。	○ 今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩の際や近隣の店舗の方からは、利用者や職員にも気軽に声をかけていただいております。	○ 今後も、より一層おつきあいしていただけるように色々な取り組みを検討したいと考えております。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に奏として加入しており、町内会行事・敬老会等への参加・交流をしています。	○ 今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会議において、議題等として取り上げています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	今回の評価実施を受け、改めて前回の評価結果を見直す機会を作ることが出来ました。	○	今後も、評価を活かし、より良い運営ができるように改善に取り組んでいきたいと思います。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議において提示し、意見を参考に運営しています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	各種届出時を利用し、質疑応答をしたり、パンフレットや家族通信を届けたりしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	市が発行しているパンフレットなどを読み、知識を得ていますが、まだまだ不十分だと思っています。入居において契約・問い合わせの方には必要に応じて、情報を提示し説明しています。	○	今後は外部研修などに参加し深い知識を得るようにしたいと思っています。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	県で発行されたマニュアル等を全職員で回覧し、各自で学ぶ機会としましたが、まだまだ不十分だと考えています。	○	今後は外部研修や施設内研修で学ぶ機会をつくり、虐待防止の徹底ができるようにしたいと思っています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約を結ぶ際には、重要事項説明書と契約書をもとに、十分に説明し、ご納得いただいてから署名・捺印をしていただようにしています。</p>	<p>○</p> <p>今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。</p>
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>現場にて、利用者から不満や苦情が出た際は、きちんと利用者の話しをじっくり聴くようにし、現場で対応できるものはすぐに反映させるようにしています。また、今年度から介護相談員の受け入れをすることとしています。(今年度の来訪はまだ受けていません。)</p>	<p>○</p> <p>今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。</p>
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月ご家族にはお手紙を郵送し、日々の生活・金銭面等報告しております。</p>	<p>○</p> <p>今年度より家族通信「陽だまり」を二ヶ月に1度程、作成・配布を始めました。</p>
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>電話連絡時や面会時を活用し、ご家族からの率直な意見や不満・苦情などを伺えるようにしています。また、契約時に、苦情申し立てができる外部機関について説明しています。</p>	<p>○</p> <p>今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。</p>
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>月1回の職員会議やフロア一会議や毎日の申し送り時等で率直な意見を出してもらうようにしています。また、個別に職員一人一人の思いを聞く機会も随時設けています。</p>	<p>○</p> <p>今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。</p>
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>そのときの状況に合わせて、その場にいる職員間で話し合い、柔軟な対応ができるようにしています。</p>	<p>○</p> <p>今後は、必要な時間に適正に職員が確保できているか見なおし、勤務時間の検討などもしていきたいと思います。</p>
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>離職や異動の際には、必要最低限となるように検討し実施しました。利用者には該当する職員からお別れの挨拶などをしてもらいました。また、その際には利用者の精神的なダメージにも配慮し、不安感を静めていただくような声かけをしました。(「他の職員や新しい職員できちんと見させていただきます」等と話させていただきました。)</p>	<p>○</p> <p>離職者が出ないように努力をするのと同時に、今後も職員異動などの時は精一杯の配慮をしていきたいと考えています。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職能に合わせた外部研修への参加をすすめたり、事業所内研修の機会を作り、一人一人のケアの質の向上に努めています。</p>	<p>○</p> <p>今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。</p>
20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>神奈川県認知症高齢者グループホーム協議会に加入し、合同研修会などに可能な範囲で参加しています。近隣の同業者との交流の場は現在は途絶えてしまいました。</p>	<p>○</p> <p>今後は市および区内の同業者との交流の機会を持つべく、積極的に当事業所からアプローチなどしていきたいと考えています。</p>
21	<p>○職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる</p>	<p>まめに声かけし、日ごろからコミュニケーションを取るよう努めています。そして、必要や要請に応じて話し合いの場を持ち、職員一人一人の気持ちや思いを受け止めるようにしています。</p>	<p>○</p> <p>今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。</p>
22	<p>○向上心を持って働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている</p>	<p>運営者は、全職員の日ごろの努力や実績、勤務状況を把握し、各職員の努力を評価しようとしています。</p>	<p>○</p> <p>今後も、全職員が向上心を持って働くことが出来る環境整備に努めていきます。</p>
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>面接時には、本人からも意向を聴く機会を作り、不安がないように配慮しています。</p>	<p>○</p> <p>今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。</p>
24	<p>○初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている</p>	<p>入居前に何度か面談の機会を持ち、ご家族の思いをじっくりと伺い、信頼関係を作るようにしています。</p>	<p>○</p> <p>今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	相談時に、本人や家族のニーズを的確に掴むようにじっくりと話しを聞き、入居を急がなくても良いケースと思われるときには、併設事業所(小規模多機能、デイサービス)等の説明や紹介をする機会もありました。	○	今後も、引き続き同じような対応をしていきたいと思ます。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居においては即入居の体制をとらず、本人の見学やおやつ時にお茶を飲みに来ていただく等の機会を積極的に促していき、入居前に少しずつホームの雰囲気になじめるようにしています。	○	今後も、引き続き同じような対応をしていきたいと思ます。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	食事を一緒にしたり、洗濯干し・たたみ、食事盛り付け・片付け、掃除などの日常生活の仕事を一緒に取り組みながら、共通の話題づくりや共同生活者としての立場が実感できるようしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思ます。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入居となっても、家族と職員が協力しあってご本人を支えていくことの重要性をご家族に充分お話しし、ご理解いただいています。	○	家族の思いを受け止めながら、本人をどのように支援していくかを、今後もそのつど話し合っていきたいと思ます。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居前の家族関係や、現状での本人・家族それぞれの思いを聞き、お互いの関係性を理解し、適切な支援をしようとしています。	○	今後も、引き続き同じような対応をしていきたいと思ます。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ホームに気軽に面会していただけるように、ご家族に声かけを行っています。友人・知人の方々へも来て頂ける様に、ご家族を通じて声を掛けていただくようお願いをしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思ます。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	満床になったことで、利用者同士の関係性も出来、食事の席の配置には配慮しています。また、フロアでのレク活動や余暇時間を通して、親睦が深まるように援助しています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思ます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	何らかの形で契約が終了しても、いつでもまた相談等支援・協力を惜しまないと利用者・家族にお話しています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個々の生活、ADLに合わせて個別に把握し、一人ひとりの思いや意向を聴く時間を持つようにしています。自身で訴えられない利用者へは本人の思いを推測し、理解するように努めています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	インテークから、これまでの暮らし方を把握するように本人・家族に尋ねるようにしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	日々の生活記録や申し送り時に職員間で情報共有し、現状把握するように努めています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日常の記録、フロア会議での検討事項等をもとに暫定的なケアプラン作成しています。ご家族へは面会時等に説明を行い、意見や希望を出していただき、最終版としています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間に応じ、計画作成担当者がまずは見直しを行い、上記のように進めていくようにしています。それと共に利用者の状態の変化があったときも、同様な手順を踏み、ケアプラン作成をしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	利用者ごとに生活記録を細かく記入することにより、職員間で共有できるようにしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	インテーク時に、施設内の他事業所のサービスの案内をし(小規模・デイ)本人や家族の状況に合わせてサービスを受けていただければというように支援をしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	今のところ、あまり連携はとれていませんが、音楽を演奏してくれるボランティア団体とコンタクトをとり、演奏にきてもらいました。	○	今後、音楽演奏や演芸をしてくれるボランティア団体と定期的に交流を持っていきたいと思っています。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	訪問マッサージを受けている利用者が数名おり、そのつど本人の体調や様子などの情報提供を行っています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議の参加メンバーに所長が入っているため、二が月に一回は事業報告を行い、助言等をいただいています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	個々の利用者の在宅生活時のかかりつけ医については、入居時のアセスメントで把握するようにしています。入居後も必要に応じて、受診していただく場合もあります。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	地域の専門医の情報はだいぶ得ていますが、連携はとれていません。嘱託医とは、利用者の状態に合わせて。受診日以外にも電話などで相談などさせていただいています。	○	今後は、認知症の専門医と連携をとる方法を模索していきたいと思っています。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員は、通常は介護職員と同じ動きをしていますので、常に相談しながら、日常の健康管理を共ににおこなっています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思っています。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中も計画作成担当者等が、家族の相談事に乗るようにしています。入院中の経過や退院後の生活については、病院関係者と細かな情報交換や相談に努め、退院後もスムーズに利用再開できるようにしています。	○	今後、入院されるケースがあったら、同様に対応していきたいと思っています。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化した利用者家族には、今後予想される事態を説明する場面を作り、方針を共有し、同意書なども作らせて頂いています。終末期においては、未だ対応したことはありません。また、契約時に本人・家族の意向を伺いつつ、事業所の体制も説明し理解を求めています。	○	契約時に、本人・家族の意向を伺い、変化があったときには再度検討する旨を説明し、同意をいただくようにしていきたいと思っています。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	必要時に、家族の協力の下、かかりつけ医と連絡を取り合い指示や指導を受けられるようにしています。	○	今後、終末期のあり方については、家族懇談会などを行い意見をいただく機会をつくろうとしています。また、職員間でも話し合う機会をつくり、マニュアルの整備に取り組みたいです。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	他の施設入所となった時に、本人の状態の細かい情報提供をさせていただいています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思っています。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の居室へ入る時は必ず声をかけて入室する等の配慮はしています。記録物についてはカギのかかる収納棚に入れて保管しています。	○ 今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援している	個々の利用者に合わせた声かけの仕方の説明を行い、出来るだけ自分で決めていただくように促しています。	○ 今後も、引き続き同様の対応をしていきたいと思います。その際は、こちらの意見を押し付けないようにしていきたいと思います。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	食事にかかる時間・入浴にかかる時間等、個々の利用者のペースに合わせて、ゆっくり過ごしていただくようにしています。	○ 今後も、本人の体調に合わせて対応していきたいと思います。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	訪問理容の利用時はご本人の希望に応じ対応し、希望でパーマ・顔そり・毛染めも可能なようにしています。	○ 今後は、家族に協力をいただき、本人の望むお店にけるように支援していきたいと思います。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	調理については、業者に委託していますが、片付け・食器洗い・拭き等を可能な範囲で職員と利用者がともに行えるようにしています。盛り付けは、いろいろな食形態に合わせて行う必要性から、現在は手伝ってもらっていません。	○ 今後は、盛り付けも行ってもらえるように工夫したいと思っています。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	嗜好品(コーヒーなど)に関しては何種類か選べるように対応しています。アルコール等は個々の現在の疾病によりドクターストップがない限りは出来る限り希望を叶えていくこととしていますが、現在は希望者がいないため対応していません。	○ 今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	各自の排泄パターンを把握するために排泄チェック表を記入し、適時の対応しています。	○	今後も、継続していき、自ら訴えられない利用者には、職員からの声かけや誘導を行い、清潔を保っていただけるように支援していきたいと思います。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は設けていますが、本人希望により変更できるように対応しています。	○	今後も、本人の体調に合わせて対応していきたいと思います。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個々の睡眠や生活習慣を日々の記録により把握し、日常生活リズム作りを行い、安心して眠っていただけるように支援しています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常生活部分を利用者に、担っていただき、個々の役割意識をもってもらうように支援しています。また、楽しみの部分としては、一人ひとりの生活歴から好きなことを引き出し行っているようにしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人では管理が難しい方が多い為、ご家族了解のもとに職員が管理し、外出時に買い物等の機会をもうけ支援を行っています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い日は、希望する利用者と散歩などに出かけたりしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	行事等でドライブなど外出等の支援を行っています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望があれば支援しています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	面会に関しては自由に来訪が出来、自室やフロアで過ごせるよう対応しています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
(4)安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束については、職員全員が禁止事項であることを周知対応しています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。また、施設内研修の機会を作り、一層の理解を深めていきたいと思っています。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	2・3階部分が施設になっていて施設前が交通量の多い道路であるため、ご家族了解のもとエレベーターや階段出入口に電子キーを使用しています。	○	今後も、継続します。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	利用者の見える範囲に職員がいるようにしています。	○	今後も、継続します。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	注意が必要とされる物品に関しては、鍵がかかるところに保管しています。	○	今後も、継続します。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットへの意識づけを職員間で行い、小さなリスクにも注意を払うようにしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。また、施設内研修の機会を作り、一層の理解を深めていきたいと思っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	以前には、看護師による伝達研修(施設内)実施したこともありますが、今年度から、職員全員が順番に消防署主催の救命講習会へ参加するようにしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。また、看護師による施設内研修の機会を作り、一層の理解を深めていきたいと思います。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防災計画にのっとり、定期的に防災訓練を行っています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	個々の利用者によって、ご家族にその都度説明対応しています。	○	今後も、継続していきたいと思います。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	早期に医療機関に連絡するとともに、ご家族にも連絡しています。	○	今後も、継続し対応していきます。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個々のファイルに服薬している薬の説明があり、把握できるようになっています。	○	誤薬、飲み忘れがないように、複数の職員がチェックし、服薬確認を行っていきます。また、服薬に変更があった場合の情報共有に努めたいと思います。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	なるべく自然排便を促し、嗜好・食物・個別乳製品購入にて対応しています。	○	今後も、継続し対応していきたいと思います。必要に応じてかかりつけ医への受診もすすめていきたいと思います。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔ケアを行っています。夜間入れ歯に関しては洗浄剤にて清潔の保持と管理をしています。	○	今後も、継続し対応していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	個々の摂取表をもうけ記入し、一人ひとりの状態を把握し、摂取量が少ない利用者へは合間をみて声かけを行ったり、食事介助をしています。	○	今後も、継続し対応していきます。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルを作成し、職員に周知しています。	○	今後も、継続し対応していきます。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理器具についてはフロー内で調理する機会は少ないのですが、使用した際は消毒を行っています。	○	今後も、継続し対応していきます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に椅子を用意しゆっくりくつろげる工夫しています。	○	今後も、継続します。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の飾り物やカレンダーなど、利用者と一緒に作品作りを行ったりし、環境作りを行っています。	○	今後も、継続します。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ベランダには椅子を置き、くつろげる空間を工夫しています。	○	今後も、継続します。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家族と協力し、本人のなじみの家具や寝具を用意していただき、居心地のよい居室となるようにしています。	○	今後も、引き続き取り組んでいきたいと思います。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	各居室に換気扇をもうけ、エアコン等も温度に配慮しながら、こまめに確認を行っています。	○	今後も、継続し対応していきます。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室に洗面所・トイレを完備し、本人の自立支援を行っています。	○	今後も、継続します。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	個々のペースに合わせて自立を目的として暮らせるように配慮しています。	○	今後も、継続し対応していきます。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	フロアーにベランダがあり、物干しやベンチがある為、洗濯物やお茶を飲んだりしています。屋上で植物を育てたり花火鑑賞を行ったりしています。	○	今後も、継続し対応していきます。

V. サービスの成果に関する項目			
項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	①ほぼ全ての利用者の
			②利用者の2/3くらいの
			③利用者の1/3くらいの
			④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある
			②数日に1回程度ある
			③たまにある
			④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と
			②家族の2/3くらいと
			③家族の1/3くらいと
			④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き生きと働いている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者一人一人が、その人らしい生活を出来る限り永く維持できるよう、奏で生活している中での日常の生活動作を中心に個々に役割をもつていただき、「楽しく」「笑顔で」「のびのびと」生活が送れるように、必要な支援をしていくように心がけています。